

# 2018年度 障害報告 集計結果

(一財)東京都スキ一連盟  
教育本部 安全対策部

2018年度

提出 258件

受講者数 5,616名

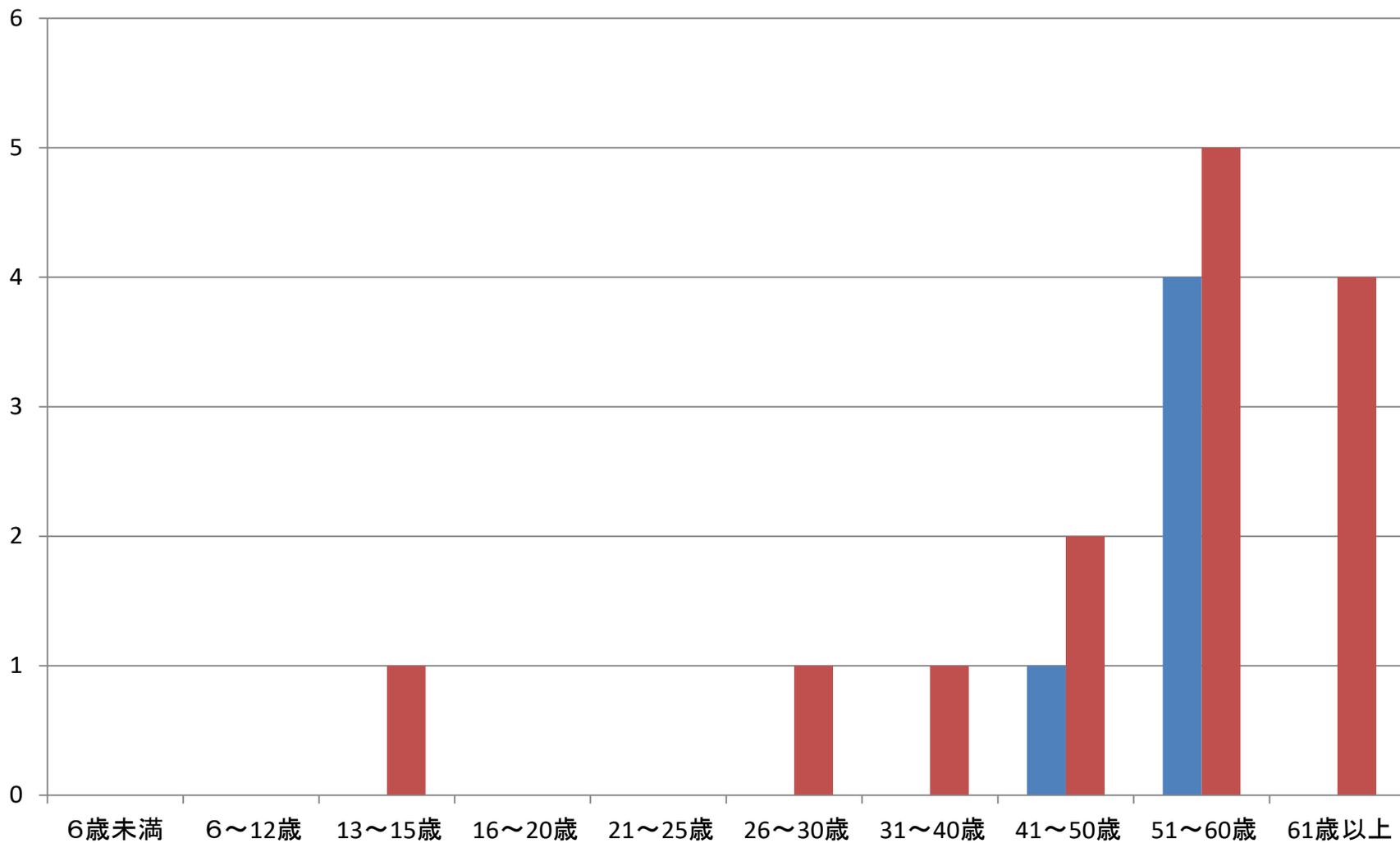
受傷者数 19名

受傷率 0.34%

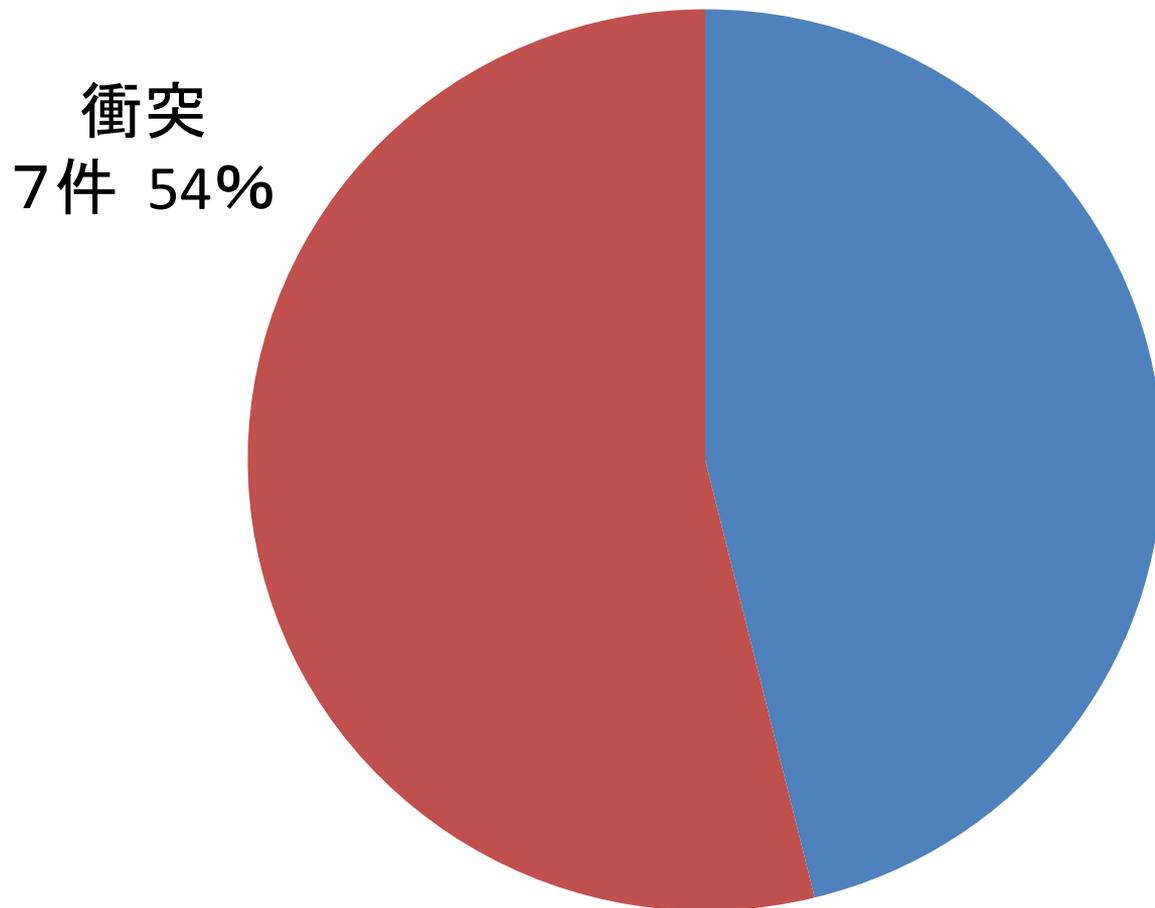
設 問	No.	人数	No.	人数	No.	人数	No.	人数	No.	人数	No.	人数			
傷害保険	01	自己傷害保険	3	02	対人賠償	0	03	対人対物賠償	3		自己+対人	2		自己+対人対物	8
					対物賠償	3					自己+対物	2			
性別	04	男性	9	05	女性	10									
年齢	06	6歳未満	0	07	7-12	0	08	13-15	0	09	16-20	0	10	21-25	2
	11	26-30	1	12	31-40	3	13	41-50	5	14	51-60	7	15	61歳以上	1
技術レベル	16	指導者	4	17	上級者	7	18	中級者	4	19	初級者	1	20	初心者	3
体格	21	大きい	5	22	普通	12	23	小さい	1						
滑走日数	24	0-3	6	25	4-6	6	26	7-10	2	27	11-15	1	28	16-20	2
	29	21-30	0	30	31日以上	2									
休養	31	充分	19	32	不充分	0									
準備体操	33	充分	18	34	不充分	1									
傷害名	35	捻挫	5	36	骨折	7	37	脱臼	0	38	切創	0	39	打撲	1
	40	靭帯損傷	7	41	擦過傷・刺創	0									
傷害場所	42	前頭部	0	43	後頭部	1	44	顔面	0	45	頸部	1	46	肩部	0
	47	上腕部	1	48	前腕部	1	49	手指部	1	50	胸部	2	51	背部	1
	52	腹部	0	53	腰部	0	54	大腿部	0	55	膝部	11	56	下腿部	2
	57	足首	0	58	その他	0									
全治日数	59	7日未満	3	60	8-14	2	61	15-21	0	62	22-30	5	63	31-60	4
	64	61-90	0	65	91以上	2	66	未受診	0			0			
発生状況	67	講習中	12	68	自由時間	6	69	練習中	1	70	競技中	0			
発生時刻	71	9時まで	2	72	12時まで	8	73	15時まで	6	74	17時まで	2	75	ナイター	1
	76	その他	0												
雪質	77	粉雪	2	78	湿雪	1	79	新雪	3	80	深雪	0	81	ザラメ	3
	82	アイスバーン	1	83	踏み固めた雪	7	84	溶けかけた雪	2	85	その他	0			
斜面の傾斜	86	緩斜面	7	87	中斜面	8	88	急斜面	4						
斜面の状況	89	スムーズ	12	90	ギャップ・こぶ	3	91	ラフ	3	92	深雪	1			
ゲレンデ状況	93	混雑	0	94	普通	7	95	すいていた	12						
ゲレンデ整備	96	良い	7	97	普通	11	98	悪い	0						
原因	99	自己転倒	15	100	衝突	3									
自己転倒	101	回転失敗	10	102	人・物の回避	4	103	スピード・オーバー	1	104	技術不足	2			
衝突	105	自分から	0	106	衝突された	1									
衝突相手	107	人	4	108	物(人以外)	1									
相手の状況	109	講習中	0	110	自由時間	1	111	練習中	0	112	競技中	0			
ピンディング	113	はずれた	7	114	はずれない	12									
調節方法	115	知っていた	16	116	知らない	3									
調整者	117	自分で	7	118	販売店	8	119	指導員	0	120	パトロール	0	121	知人・友人	1
	122	その他・不明	3												
開放強度	123	強すぎ	0	124	適切	19	125	弱すぎ	0						

# 【受傷年齡】

■ 女性 14名      ■ 男性 5名



# 【受傷原因】 N-19



自己転倒  
6件 46%

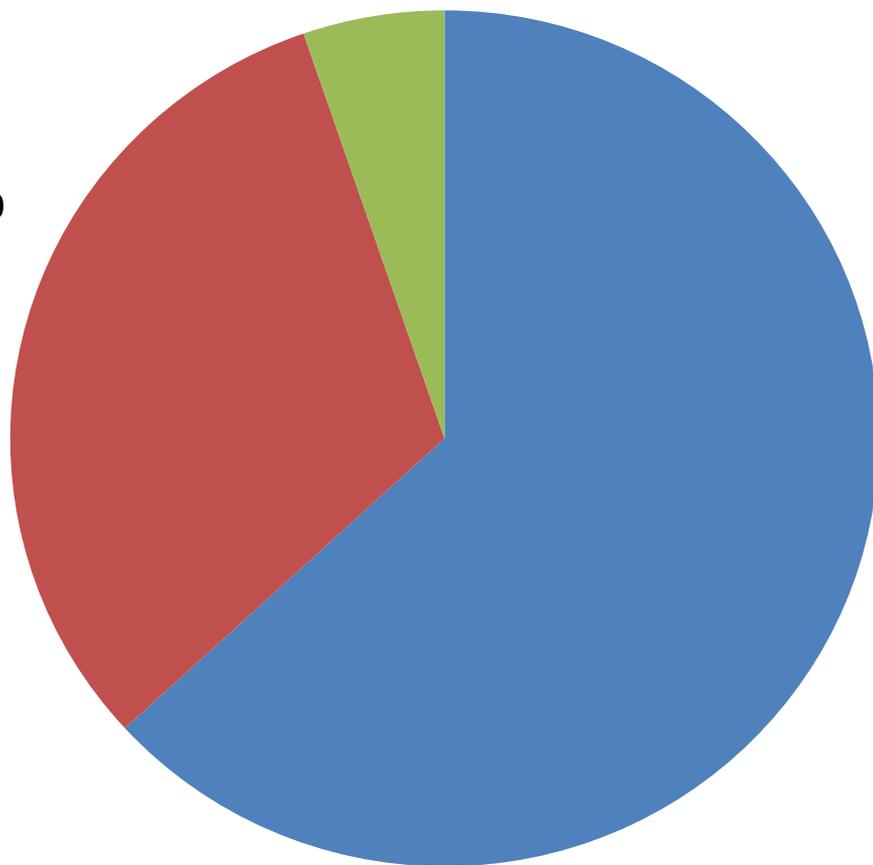
2017年度 N-15  
自己転倒 6件 46%  
追突 7件 54%

# 【発生状況】 N-19

練習中  
1件 5%

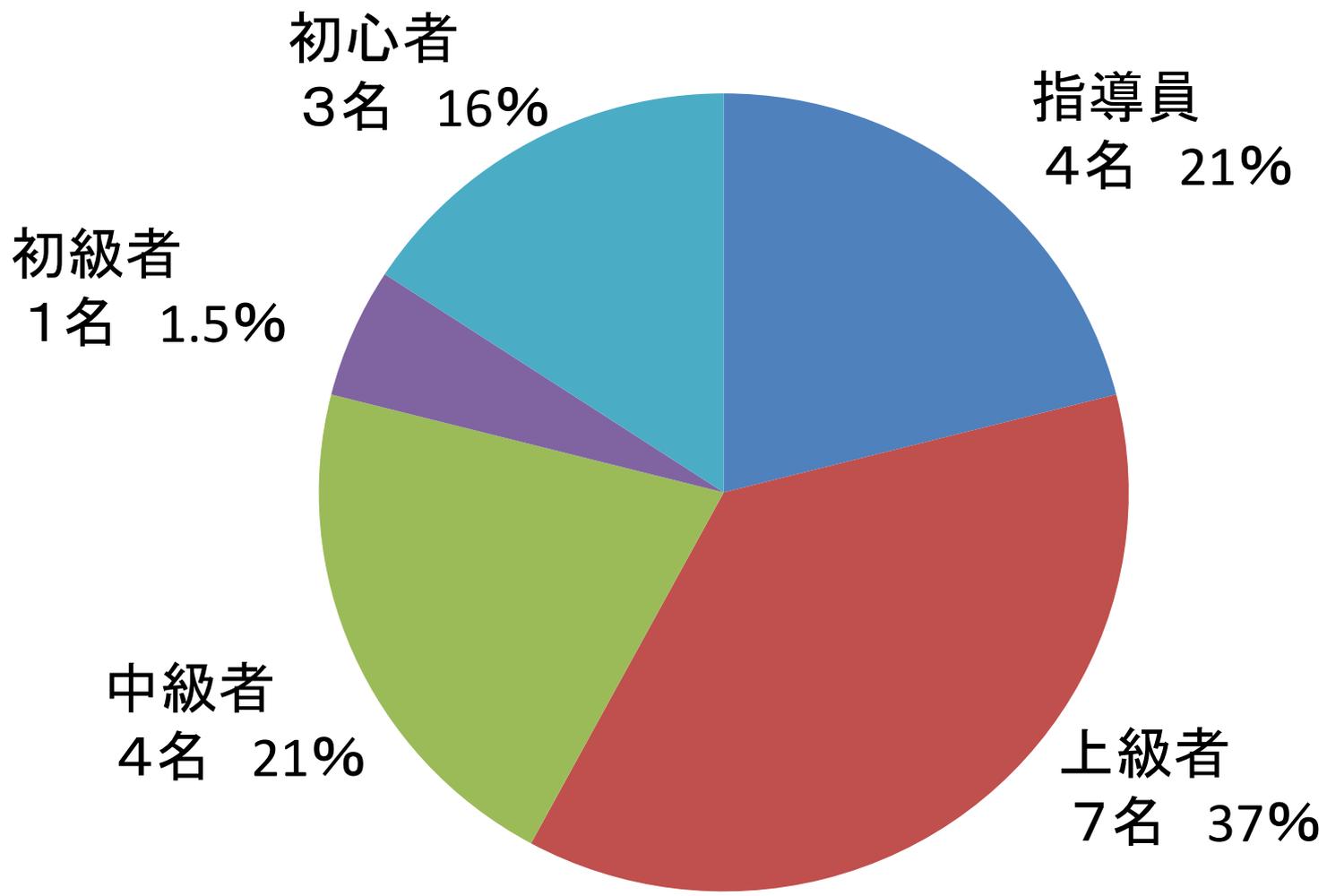
自時間  
6件 32%

講習中  
12件 63%

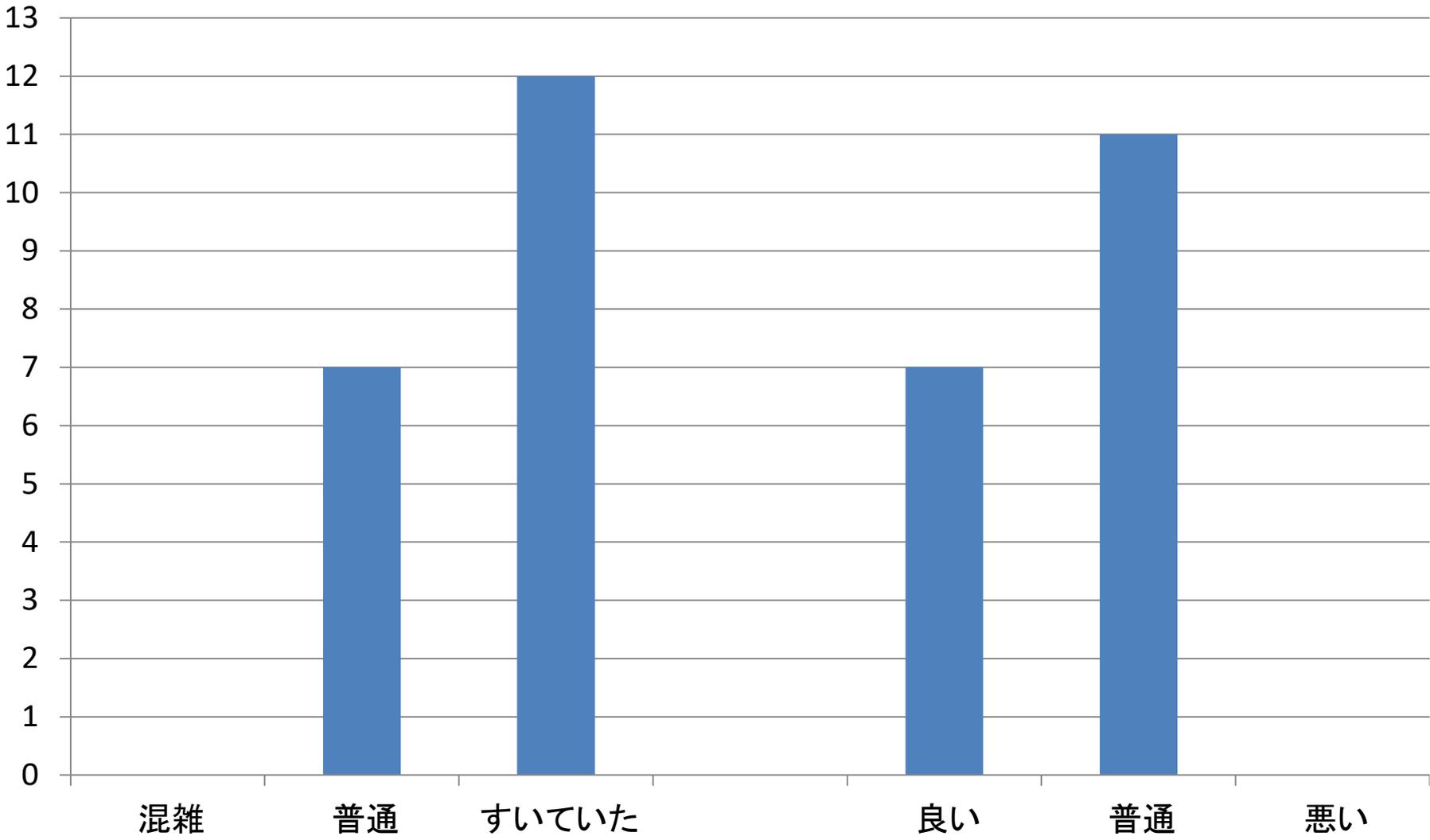


2017年度 N-15  
講習中 12件 80%  
自由時間 1件 7%  
練習中 2件 13%

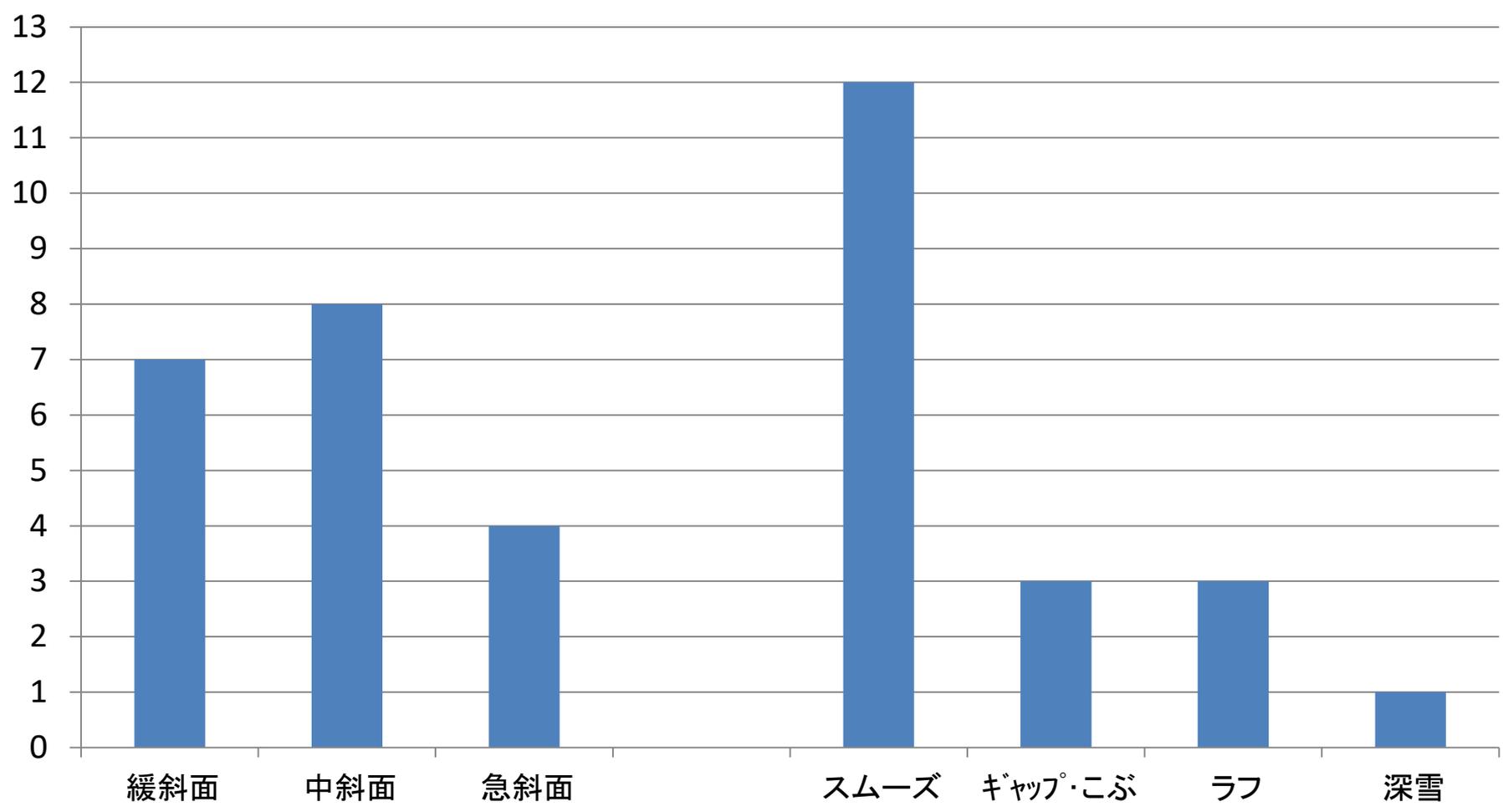
# 【技術レベル】 N-19



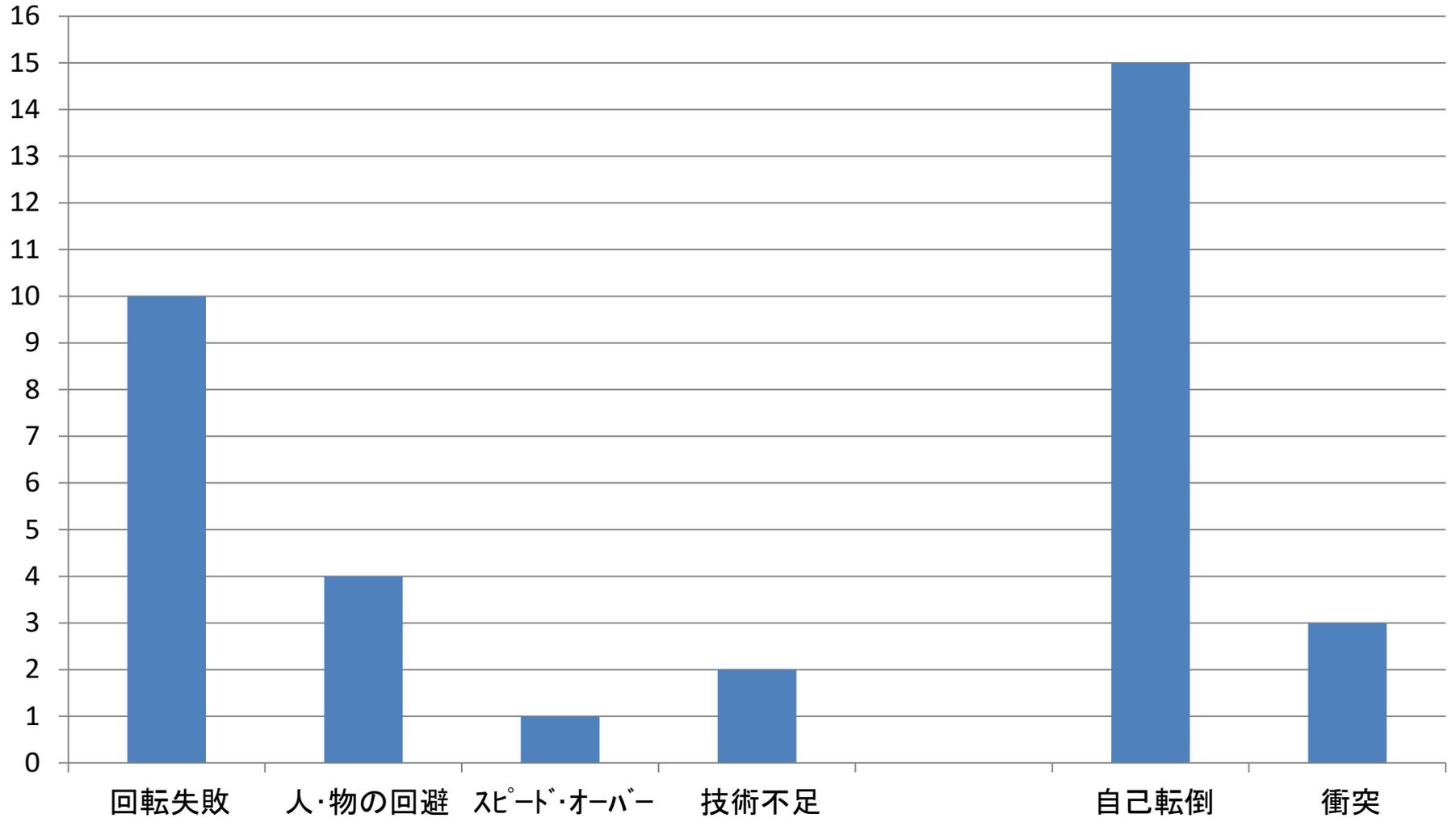
# 【ゲレンデ 状況と整備】



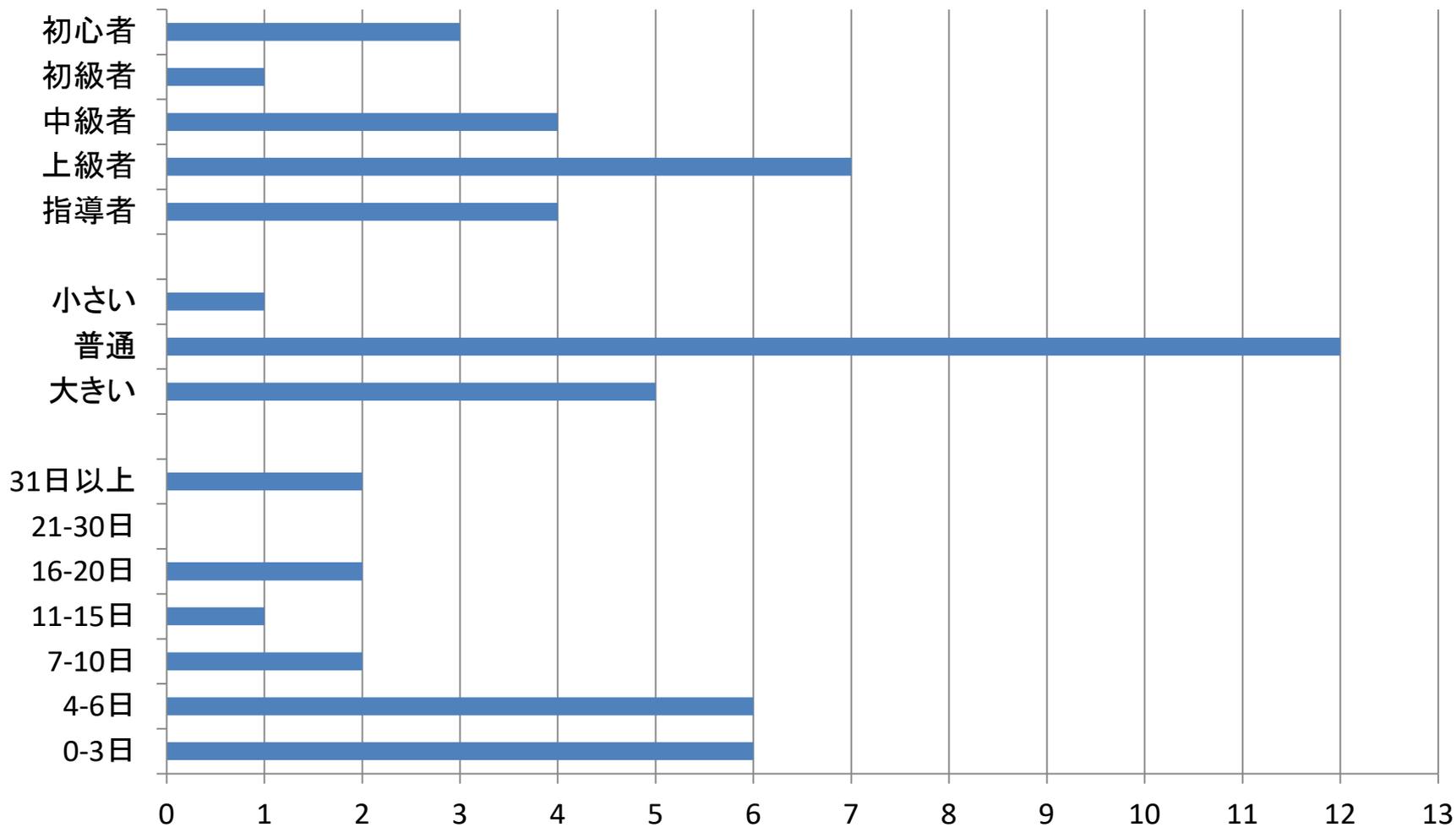
# 【ゲレンデ 傾斜と状況】



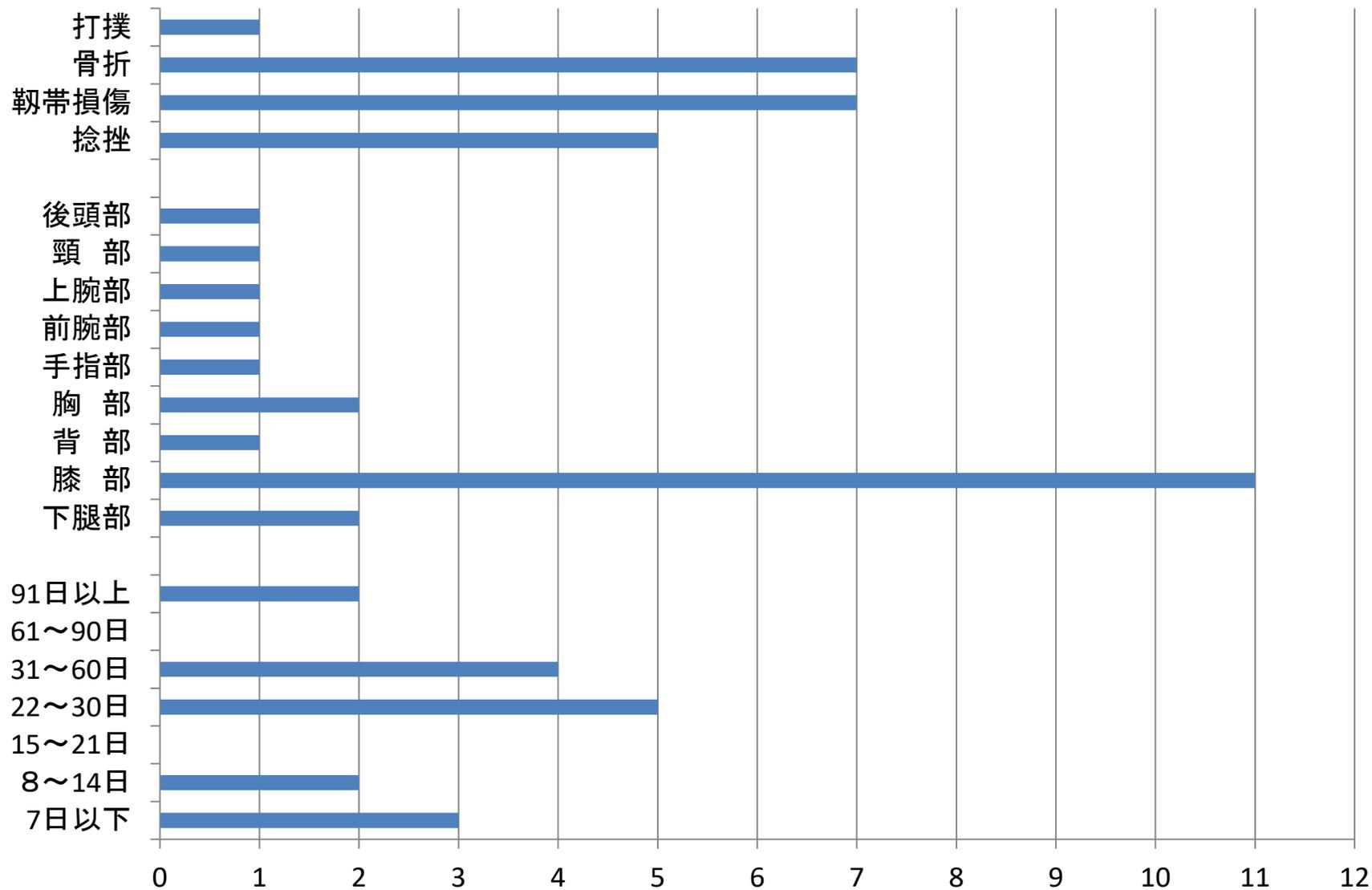
# 【自己転倒と衝突】



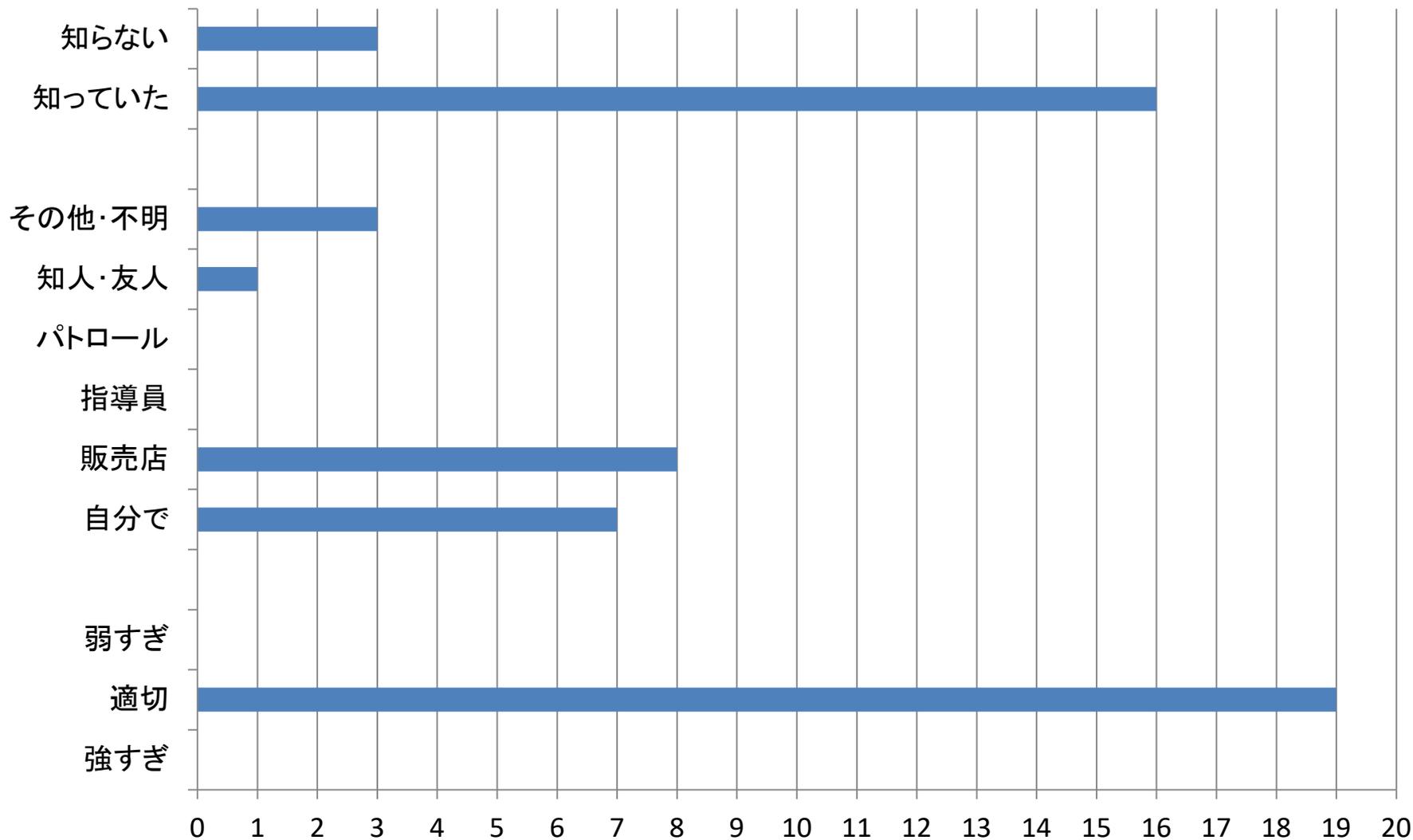
# 【技術レベル・体格・滑走日数】



# 【障害名・障害場所・全治日数】

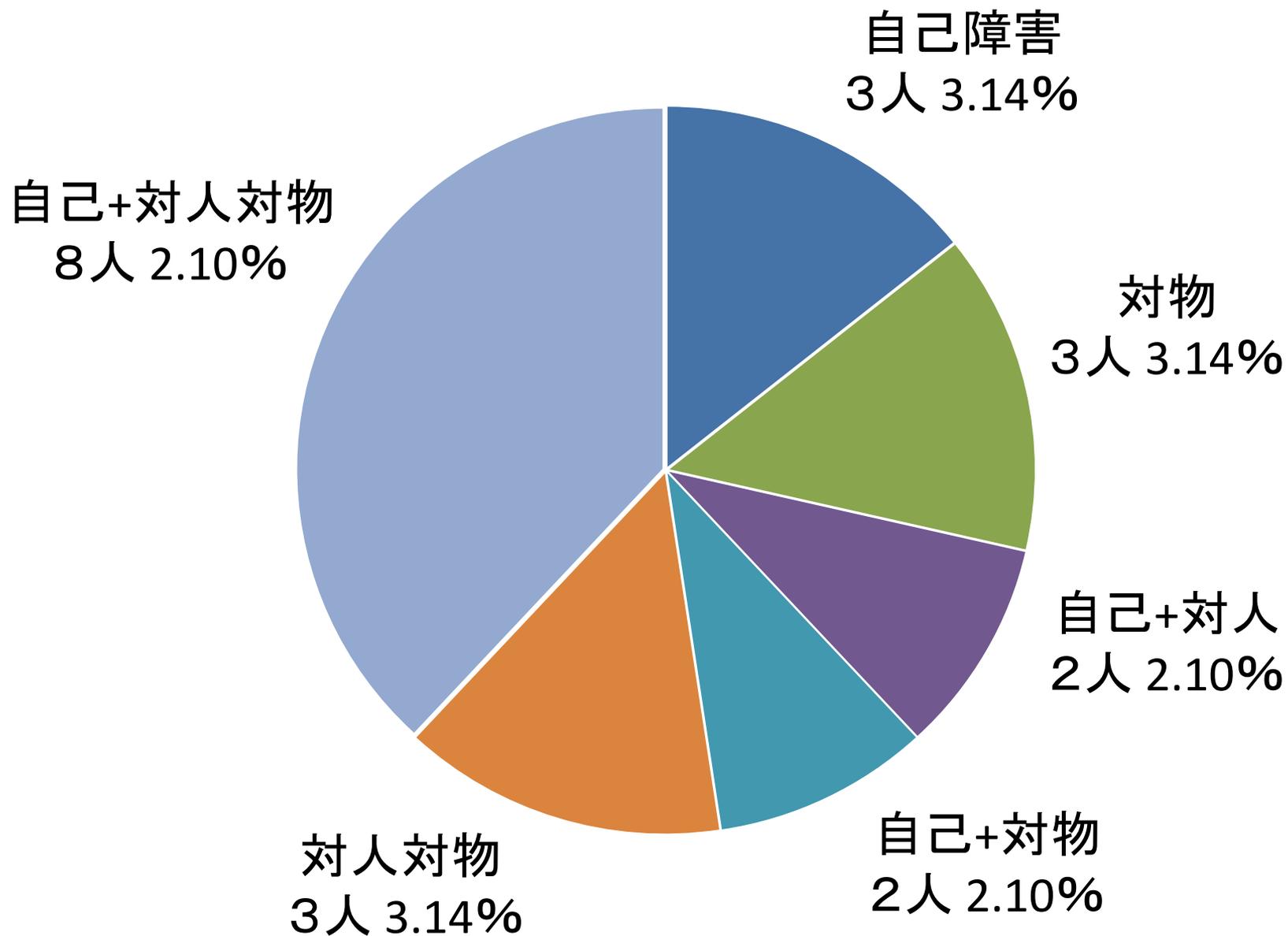


# 【調整方法・調整者・開放度】



# 【障害保険】

N-19



# 2018年度の傷害報告統計から

受傷率は、0.34%

(2017:0.25% 2016:0.23% 2015:0.30% 2014:0.33%)

講習中の発生が多い。

傷害事故は、40歳以上に多く発生している。

傷害部位は、膝の傷害発生が多く  
治療に時間がかかる。

# 傷害を未然に防ぐには・・・

## 道具

- ・ヘルメットをかぶる
- ・ストックを振って合図をしない

## 自分自身

- ・準備運動は、十分に行う
- ・滑走前に周囲の確認
- ・スピードコントロール
- ・ゆとりを持つ

## 指導者

- ・講習場所の安全に配慮
- ・受講生の状況把握

# スキー傷害事故報告書

必要事項を記入し、**スキー学校報告書と共に必ずご提出ください。**

また、事故発生時は**負傷者1名につき1枚**ご提出ください。

この報告書は、傷害防止対策の資料とします。他の目的には使用しません。

スキー学校認定番号  検定共催番号

団体番号  団体名:

実施期間: 年 月 日( 曜日) ~ 年 月 日( 曜日)

実施場所: 道・県 /  スキー場

講習総人数:  名

講習班数: 班 / 1班平均 名

安全対策担当者氏名:

No.	質問	回答	回答の選択肢
Q1	どの傷害保険に加入しましたか？		1. 自己傷害保険 2. 対人賠償保険 3. 対人対物賠償

該当するものをすべて記入してください。

ここまで全てに回答してください

傷害事故発生  有  無 → ありがとうございます

↓  
2ページ目に続く

傷害事故発生日: 年 月 日( 曜日) / 天候:

No.	質問	回答	回答の選択肢
Q2	傷害にあった人は？		4. 男性 5. 女性
Q3	その人の年齢は？		6. 6歳未満 7. 7~12歳 8. 13~15歳 9. 16~20歳 10. 21~25歳 11. 26~30歳 12. 31~40歳 13. 41~50歳 14. 51~60歳 15. 61歳以上
Q4	その人の技術は？		16. 指導者 17. 上級者 18. 中級者 19. 初級者 20. 初心者
Q5	その人の体格は？		21. 大きい 22. 普通 23. 小さい
Q6	その人は今シーズン、ケガをするまで何日くらい滑りましたか？		24. 0~3日 25. 4~6日 26. 7~10日 27. 11~15日 28. 16~20日 29. 21~30日 30. 31日以上
Q7	前日は良く眠った？		31. はい 32. いいえ
Q8	準備体操は？		33. 充分 34. 不十分
Q9	傷害の名前は？(左から重傷度の高い順)		35. 捻挫 36. 骨折 37. 脱臼・亜脱臼 38. 切創 39. 打撲 40. 帯状疱疹 41. 擦過傷・剝創・その他
Q10	Q9で「41」と答えた場合		具体的に記入して下さい。
Q11	傷害の部位は？ (複数回答可)		42. 前頭部 43. 後頭部 44. 顔面 45. 頸部 46. 胸部 47. 上腕部 48. 前腕部 49. 手指部 50. 胸部 51. 背部 52. 腹部 53. 腰部、臀部 54. 大腿部 55. 膝部 56. 下腿部 57. 足部 58. その他( )
Q12	Q10で「44、58」と答えた場合		具体的に記入して下さい。
Q13	医師に全治約何日と言われましたか？転帰が死亡の場合は名「死亡」の※を記入		59. 7日未満 60. 8~14日 61. 15~20日 62. 21~30日 63. 31~60日 64. 61~90日 65. 91日以上 66. 要診しなかった ※ 死亡
Q14	その傷害の発生は？		67. 講習中 68. 自由時間 69. 練習中
Q15	傷害発生の時刻は？		70. 昼寝中 71. 9時まで 72. 12時まで 73. 15時まで 74. 17時まで 75. ナイター 76. その他
Q16	Q15で「76」と答えた場合		具体的に記入して下さい。

3 ページ目に続く

No.	質問	回答	回答の選択肢
Q17	その時の雪質は？		77. 粉雪 78. 湿雪 79. 新雪 80. 深雪 81. ザラメ 82. アイスバーン 83. 踏み固めた雪 84. 溶けかかった雪 85. その他
Q18	Q17で「85」と答えた場合		具体的に記入して下さい。
Q19	その時の斜面は？		86. 平地・緩斜面 87. 中斜面 88. 急斜面 89. リフト周辺
Q20	斜面の状況は？		89. スムーズ 90. キヤップ・コブ 91. ラフ 92. 深雪
Q21	その時のグレンデは？		93. 湿雑 94. 普通 95. 空いていた
Q22	グレンデの整備状態は？		96. 良い 97. 普通 98. 悪い
Q23	ケガをした直接の原因は？		99. 自己転倒 100. 衝突
Q24	Q23で「99」と答えた場合		101. 回転失敗 102. 人や物を避けようとして 103. スピードの出し過ぎ 104. 技術以上の斜面 105. その他
Q25	Q9で「41」と答えた場合		106. 衝突された
Q26	衝突の相手は？		107. 人 108. 物(人以外のすべて)
Q27	Q25で「106」と答えた場合		109. 講習中 110. 自由時間中
Q28	ケガをした時ビンディングは？		111. 緩習中 112. 競技中 113. はずれた 114. はずれなかった
Q29	ビンディングの正しい調節方法を知っていましたか？		115. はい 116. いいえ
Q30	調整は誰がしましたか？		117. 自分で 118. 販売店 119. 指導員 120. バイ・ロール 121. 知人・友人 122. その他・不明
Q31	Q30で「122」と答えた場合		具体的に記入して下さい。
Q32	担当者から見てケガをした時の開放強度は？		123. 強すぎ 124. 適切 125. 弱すぎ
Q33	スキーの種類は？		131. ノーマル(直板) 132. カービング
Q34	スキーの長さは？		133. レギュラー(130cm超) 134. ショート(100cm超130cm以下) 135. フラン(100cm以下)
Q35	Q30・Q32について担当者の意見を聞かせてください。(スペースが足りないときは、別紙に記入して添付してください。)		
Q36	その他気付いた点、ご意見がありましたら聞かせてください。(スペースが足りないときは、別紙に記入して添付してください。)		

ありがとうございます。



ご清聴ありがとうございました。

